



特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

新春特別号

[まるめろ通信/第80号]

発行日/2011年 1月30日
発行/青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175(23)1600
みちのく金谷デイ 0175(23)0771
城ヶ沢みちのく荘 0175(24)3163
脇野沢いこいの里 0175(31)5611
Eメール/marumelo@michinokuso.or.jp

第6回 デンマーク医療・福祉研修

今度、当法人では2班編成によるデンマーク研修を企画し、第1班(介護認知症研究チーム)は管理職・職員9名を昨年9月末から7日間の日程で実施しました。今回の研修は平成24年度以降の新規事業を見据え、医療・福祉・生活を包摂した新しい21世紀型事業をむつ市に構築することを目的として、企画したものです。3回シリーズに分けて掲載します。

●1日目

特養いこいの里/大場 久美子

【高齢者アクティビティセンター】

60歳以上の概ね自立の市民が対象、月に700円程度の会費を支払えば、毎日でも利用できます。

センターには、絵画や洋裁など48種類のアクティビティクラブがあります。講師も生徒も高齢者、使う機材から作品まで本格的なものが揃っていました。施設内にセンターの利用者が運営する「KIOSK(キヨスク)」と呼ばれる売店があり、製作した民芸品を自分たちで販売するクラブもあります。

【高齢者住宅】

ご夫婦で入居するお宅を訪問しました。エルシノア市では、体の機能低下などで自分の家が住みにくくなると、高齢者住宅に移り住む人が多く、現在24世帯が生活しています。市には「ビジテーター」と呼ばれる福祉

サービスの判定員が配置され、その人に必要なサービスを判定します。ご夫婦は、ヘルパーなどの住宅サービスや買い物代行サービスなどを利用し、暮らしが楽になりました。ヘルパーは朝訪問し、することがなければそのまま帰ります。住宅費は年金に充てて市から補助があり、十分に満足しているそうです。

ご夫婦は入居当時、車椅子の生活でしたが、アクティビティセンターでのリハビリや訪問リハビリを続け、今はほぼ自立した生活を送っています。自分の人生を自分で決めてきたから、私は満足している。良い老後を過ごしていない人がいるとしたら、それはその人の生き様じゃないかな。」という言葉が印象的でした。

デンマークでは医療・福祉分野において、3年半から6年かけ資格教育をします。概論はほとんどなく、実習などのベッドサイド教育が主流です。

【資格教育】

日本の介護福祉士にあたる「社会保健ヘルパー」は、日本より少ない1年2カ月の資格教育を受け取得でき、さらに1年8カ月学び「社会保健アシスタント」の資格を取得すると、福祉・医療分野のどちらでも働くことができます。

また、認知症のケアを専門的に行う「認知症コーディネーター」があります。分野のスペシャリストが連携して支えるシステムができています。市民はどんな心身状態でも、それに見合った福祉・医療を受けることができます。

職員については、個々の特性ライフスタイルに合わせ日勤のみ・夜勤のみなどの働き方ができます。

国が医療・福祉施策をきちんと行い、県ではなく市に直接権限を持たせることでコスト・時間・手間などの無駄を省くことができたといえます。

●2日目

みちのく荘総合ケアセンター/工藤 泰郎

【エルシノア市高齢者総合ケアセンター】

ここにはデイサービス・トレーニングセンター・地域高齢者食堂・一般入居ユニット・認知症ユニットがあり、施設と通所のサービスを一体的に行っています。2002年に市が開業・運営している統合施設



まだ早い時間帯で客がまばらな地域高齢者食堂。デイサービス利用者のほか、街での買い物を終えた高齢者たちが昼食に立ち寄ります。エルシノアの街は地域で高齢者を支える環境が整っており、デパートのエスカレーターが段差ではなく、勾配の緩やかなスロープになっています。

①通所サービス

トレニングセンターは、午前中はデイ利用者へ、午後は地域住民に有料で開放していました。食堂も、デイ利用者のほか地域の高齢者が優先的に利用することができますようになっていきます。

②在宅サービス

当市の在宅ケアは、高齢者のほか若年性障害なども対象になっており、利用者に年齢制限はありません。市は9つの地区に分けられ、一地区あたり対象者は350人程度。各々の地区に社会保健ヘルパー・社会保健アシスタント・看護師がメインで編成されるケアチームを配置しています。

そのほかケアの目的に合わせて、転倒予防チーム・夜間看護チームなどの多彩な専門職種がチームで活躍しています。情報の共有化をとっても重視し、スタッフ全員が全利用者のデータが入った機械を持ち歩き、初めての利用者にも適切にケアできるシステムになっています。

家庭医が市民一人に必ず一人つき、同じデータ機械を持っているので薬の処方などもスムーズです。

③入居施設サービス
あらゆる社会資源を使った場合と比較した上で、施設入居が必要と判定された方

が暮らし、待っても3カ月で入居することができず。

居室には走行リフトが完備され、ベッドは職員の高さまで上げることができ、腰を曲げたり持ち上げたりせず、スムーズに離床介助や状態観察ができます。

認知症の方にとって広すぎる空間は不安を招くため、部屋は一般ユニットに比べて小さめに設計されていました。なるべく同じ職員が同じ利用者に関わる「コネクティブパーソナル」のシステムができています。

【スタッフコミュニケーション】

働く人を大事にすることは、利用者的大事にすることにつながると考えられています。

認知症ケアでは、高い専門性と集中力を必要とするため、職員は仕事中でも気分転換したいときに抜けて構いません。チームとして一番大事にしていることは、スタッフのケアです。その日の仕事に満足し帰ってもらうために、スタッフひとりひとりのコミュニケーションを大切にし、お互いを認め合える環境作りをしています。



キヨスクの店内にて。若い頃販売員だった彼女、この微笑みで商品があっという間に完売してしまいます。商品は、写真の民芸品のほか、陶磁器や木工芸品などがあり、アクティビティクラブはまるでたくさんの職人が働いている工場のような様子です。



居室はとても個性的な空間です。若い頃の写真や自分で作った小物、仕事で使っていた道具などといった、その人を象徴するものがたくさん飾られていました。



新年のあいさつ

高齢者の生活を共に創っていききたい

社会福祉法人 青森社会福祉振興団 理事長 建部 玲子

昨今の日本社会は、一昔前までは想像もつかない悲しいことが毎日報道されています。長期間発見されない孤独死、自殺、子どもからの虐待、老老介護(高齢者が高齢者を介護すること)、認知症の高齢者(認知症の高齢者が認知症の高齢者を介護すること)、買い物や病院行きもままならない交通事情、加齢に伴う家事労働能力の低下、暮らせない年金。人間の命は地球より重いと言われます。しかし、その命をつないでいくことが大変難しい時代となりました。高齢者の問題がこれで解決するかのごとく喧伝された介護保険制度が、施行されてから十年が過ぎました。

しかし、介護保険サービスだけでは生活のすべてを抱えきれません。生活全体をトータル的に保障する制度の確立なくして、本当の『社会福祉』とは言えないと思います。

当法人が提供している各種サービスは、高齢者の方々の生活の、ほんの一部を担わせていただいております。その部分も含めた「生活」を、一緒に創り上げていくことに、100%の力を出し、皆さまの希望に沿えるよう努力いたしますので、本年もよろしくお申し込み申し上げます。

やさしい街づくりを応援しています。

エコ住宅・新築工事・リフォームならアフターと信頼の当社におまかせ!! まつうらホーム 松浦一級建築設計事務所 (有) 松浦建設 むつ市柳町4-12-25 TEL22-5309

三井住友海上火災保険代理店 (株)ほけんやの成田 安心 信頼 笑顔 お気軽にご相談ください むつ市新町 28-17 TEL 33-2880 FAX 33-2881

快適な環境づくりのお手伝い 介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他) 住宅改修 株式会社 シルバーサービス 〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13 TEL 0175-22-9511

下北文化会館 文化芸術はもちろんのこと、様々なシーンでのご利用に対応しております。お気軽にお問合せください。 青森県むつ市金谷一丁目10-1 TEL0175-22-8411 FAX0175-22-8414 http://shimobun.com

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売 有限会社 ニツシヨク NISSYOKU 青森県むつ市大曲二丁目13-35 電話(0175) 22-7222 FAX(0175) 22-7081

この街と、生きていく。 あなたとまちとフェイスtoフェイス Face to Face 青い森しんきん

みちのく荘介護ネットワーク

●みちのく金谷デイサービスセンター(一般・予防型) TEL 0175-23-0771 ●みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ(認知症対応型) TEL 0175-23-0772 ●みちのく荘総合ケアセンター(居宅介護支援事業所) TEL 0175-23-7070 ●むつ市地域包括支援センターみちのく(みちのく在宅介護支援センター) TEL 0175-23-7930 ●特別養護老人ホームいこいの里(全個室・定員30名) ●いこいの里ショートステイ(定員10名) TEL 0175-31-5611 ●むつ市脇野沢高齢者福祉施設いこいの里(居宅介護支援事業所) ●いこいの里デイサービスセンター ●いこいの里在宅介護支援センター TEL 0175-44-2690 ●みちのく訪問入浴介護ステーション TEL 0175-23-9100 ●みちのく中央デイサービスセンター TEL 0175-23-0711 ●グループホームまるめろ(全個室・定員9名) TEL 0175-23-0611 ●ケアハウスみちのくグリーンリブ(全個室・定員20名) TEL 0175-23-0500 ●高齢者福祉施設城ヶ沢みちのく荘 ●特別養護老人ホームいこいの里 ●診療所 ●みちのく金谷総合デイサービスセンター ●下北温泉 ●下北文化会館 ●特別養護老人ホームみちのく荘 ●中央デイサービスセンター ●ケアハウスみちのくグリーンリブ ●グループホームまるめろ ●みちのく荘総合ケアセンター/むつ市地域包括支援センターみちのく



- 特別養護老人ホームみちのく荘(定員60名) TEL 0175-23-1600 ●みちのくヘルパースクール TEL 0175-23-1600 ●みちのく訪問看護ステーション TEL 0175-23-6000 ●みちのく訪問介護ステーション TEL 0175-23-9100 ●みちのく訪問入浴介護ステーション TEL 0175-23-9100 ●みちのく中央デイサービスセンター TEL 0175-23-0711 ●グループホームまるめろ(全個室・定員9名) TEL 0175-23-0611 ●ケアハウスみちのくグリーンリブ(全個室・定員20名) TEL 0175-23-0500



第28回 みちのく福祉公開講座のお知らせ 身体障がい・精神障がい・知的障がいへの偏見と差別はいまなお存在します。障がい者福祉に関する様々な取り組みを实践されてきた専門家に、障がい者福祉の今とこれからのについて講演いただきます。 演題「障がい者福祉の現状と展望」 青森市障がい児・者問題連絡協議会 代表 山内 修氏 日時 平成23年3月9日(水)午後6時~7時30分 場所 みちのく中央デイサービスセンター(十二林) 参加費無料 (お問い合わせ)特別養護老人ホームみちのく荘 0175(23)1600 奥島 澤田まで